

多機種に対応できるスマートフォン用 フリップケースの開発と市場展開



スマートフォンの機種ごとに変えなければならない従来のケースとは異なり、150以上の機種に使えるカメラ撮影も容易なフリップケースを開発した。この製造と試験販売を行ってきたが、本格的に市場展開を行うにあたり、製造工程と展開方法を見直すことにした。全て中国で委託生産だったのを、デザインの印刷は内製化することにして、低コスト・小ロット・短納期化を目指した。また、ECサイトを構築して市場展開を図った。

事業の背景



マルチタイプのスマートフォンケース開発

当社は、スマートフォン周辺商品を主力に製造・販売している。従来の手帳型スマートフォンケースはハードケースに本体をはめ込む形式をとっており、機種に応じて変える必要があった。このため、新機種が発売されると従来品は不良在庫になってしまう。そこで、特殊粘着シートを自社開発し、ケースに本体を粘着固定する方式で、サイズに関係なく

多機種に対応できる手帳型ケースを開発した。写真を撮るときには本体だけを上部へスライドでき、レンズ位置が異なる機種でも問題なく撮影ができるようにしたオリジナル商品である。この商品は、企業からOEMやODMの依頼を受けて客先または当社でデザインし、製造は全て中国で行っていた。

事業の内容



デザイン印刷の内製化とWEBサイト構築

中国で製造委託する場合、ロットの単位が大きくなってしまい、小ロットでの注文に対応できない。できてもコスト高になってしまうという問題があった。さらに、発注から納品までに1か月半を要するため、顧客の要望にフレキシブルに対応することが出来なかった。そこで、ベースとなる商品は中国で大量生産し、表面のデザインは社内で印刷できるよう工程を変更した。UV-LEDインクジェット印刷機を導入して、デザインの異なる商品を自由に作れるようにしたのである。また、プロダクトごとに専用WEBサイトを作成した。カタログのダウンロードや、カスタマイズ注文ができるようにして、顧客の利便性を高めた。同時に、ECポータルサイトを

通じて消費者への直接販売も開始した。現在は、専用サイトを統合して自社ホームページ内で全てのプロダクトが見られるように構築している。市場展開を本格化する前には、取引先企業へサンプル品を送付してアンケートを実施した。アンケートによって、自分たちでは気づかないお客様目線での改善点が指摘され、商品のブラッシュアップをすることが出来た。プロダクト発売にあたっては知的財産権を活用し、商標や意匠権を取得してから市場投入した。一部の技術には特許権を取得しており、新商品に採用してヒット商品に育てる計画である。

事業取り組みの成果



低コスト・小ロット・短納期に対応し取引拡大

中国で大量生産した製品に、社内で高品質な印刷を施すことによって、デザイン性に優れた高付加価値なプロダクトに仕上げる事が出来た。低コストでしかも小ロットに対応できるうえ、納期は1か月半から1週間に短縮され、顧客の様々な要望に応えられるようになった。これまでこのような商品はなく、印刷品質も高いため、大手企業からもリピートが増えている。一般販売商品はもちろん、イベント会場での販売グッズや企業ノベルティにも適しており、取引先は15社程度から100社以上に増加した。



【UV-LEDインクジェット印刷機】

直接販売の開始とブランディング

BtoBを主力にしている当社であるが、消費者向けの直接販売を開始し、特にSNSに力を入れて認知度の向上をはかっている。移り変わりの早いネット状況に対応するため、WEB対策にスタッフを3人配置した。自社サイトにたどり着いて商品注文へ至るまでの導線を意識しながら、SNSを大いに活用している。これは、社名とプロダクトを消費者に認知してもらい、当社のブランド力を上げるためである。消費者に対するブランド力が上がることで、BtoBの取引上でも当社の価値が認められ受注獲得にプラスとなっている。



【WEBサイト】



【自社プロダクト「FONON」】



今後の展開

- 外部要因に左右されやすいOEMに依存することなく 自社ブランドの力をつける
- WEB販売を伸ばして売り上げを確保
- 年1個の新商品を世に送り出す
- 日本で地盤固めをした後 2021年以降には海外へ進出

株式会社バイナル

所在地	兵庫県神戸市長田区西尻池町1-3-23	E-mail	info@vainal.com
TEL	078-747-0999	HP	https://vainal.com
設立	平成21年10月1日	事業内容	スマートフォンアクセサリーの企画・製造・販売、オリジナルガラス製ラインストーンの販売
代表者	代表取締役 樹田 千恵蔵	主要生産設備	UV-LEDインクジェット印刷機 3台
従業員数	17人(令和元年6月現在)		
資本金	300万円		



代表取締役 樹田 千恵蔵氏

世の中にないものを作り、新しい市場を生み出す

OEM・ODMメーカーでも陰に回ることなく、露出することが必要になってきたと感じています。ブランディングをすることで企業としての認知度と信用力が増し、そこから新しい繋がりが広がっていきます。ものが溢れている時代ですが、SNSなどを通して世界中の潜在的なニーズを探り、日常をもっと楽しく快適に過ごせるアイテムを提供したいと考えています。商品を通して沢山ののお客様に喜んでいただける事が、私たちの最大の喜びです。